

年頭のごあいさつ

<市長コメント>

明けましておめでとうございます。

令和2年の年頭にあたり、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

皆さまにおかれましては、穏やかな新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

東日本大震災から間もなく9年が経過いたします。そして本市震災復興基本計画における「発展期」の最終ステージを迎えますことから、復興の完結に向けて邁進してまいります。

去年は、防災集団移転事業による宅地造成と復興公営住宅の整備が完了し、生活の基盤が築かれるとともに、中心市街地におきましては、かわまち交流拠点と堤防一体空間などの整備が進み、石巻の食文化や物産、学び、遊びなどを楽しんでいたいております。また、石ノ森萬画館のある中瀬も公園再生整備が進んでおり、市民や観光客の憩いの場所になるものと期待しております。

震災で被害が甚大だった沿岸部も各地域拠点エリアの整備が進み、昨年10月には牡鹿観光物産交流施設「cottu(こっつ)」

がオープンいたしました。同様に雄勝地域、北上地域の拠点エリアも整備が進んでおり、今春に供用を開始し、産業の再生と交流人口の拡大を図ってまいります。

そして、市民と行政が協働し、活力ある「新たな石巻市」を創造していくためには、コミュニティの形成が必要不可欠でありますことから、地域包括ケアを推進し、医療・保健・介護・福祉・地域の連携交流拠点となる「（仮称）ささえあいセンター」を整備し、誰もがともに安心して暮らせる地域社会を創造してまいります。

復興事業の総仕上げとともに、活力とやすらぎに満ちたまちづくりをめざしてまいりますので、引き続き皆様のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、皆さまにとりまして幸多き年になりますことを心よりお祈り申し上げ、新年のごあいさつといたします。